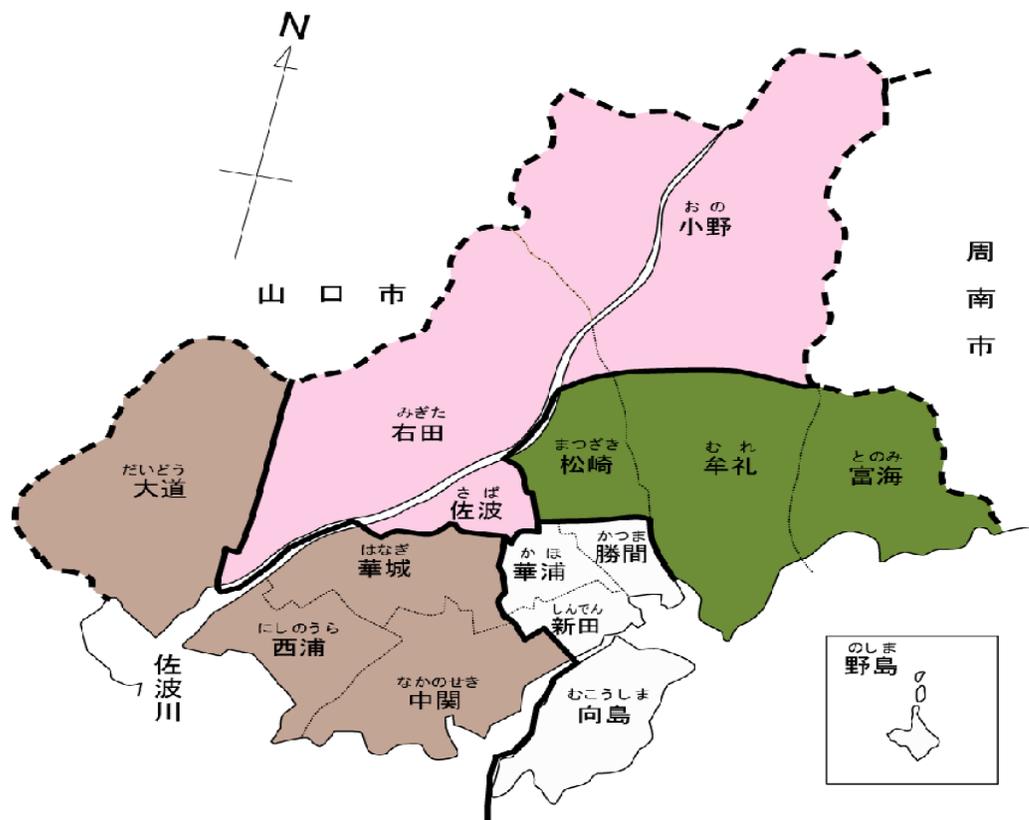


ケアマネジメントを通じた自立支援について

防府市高齢福祉課

地域包括ケア係 河津 雅俊

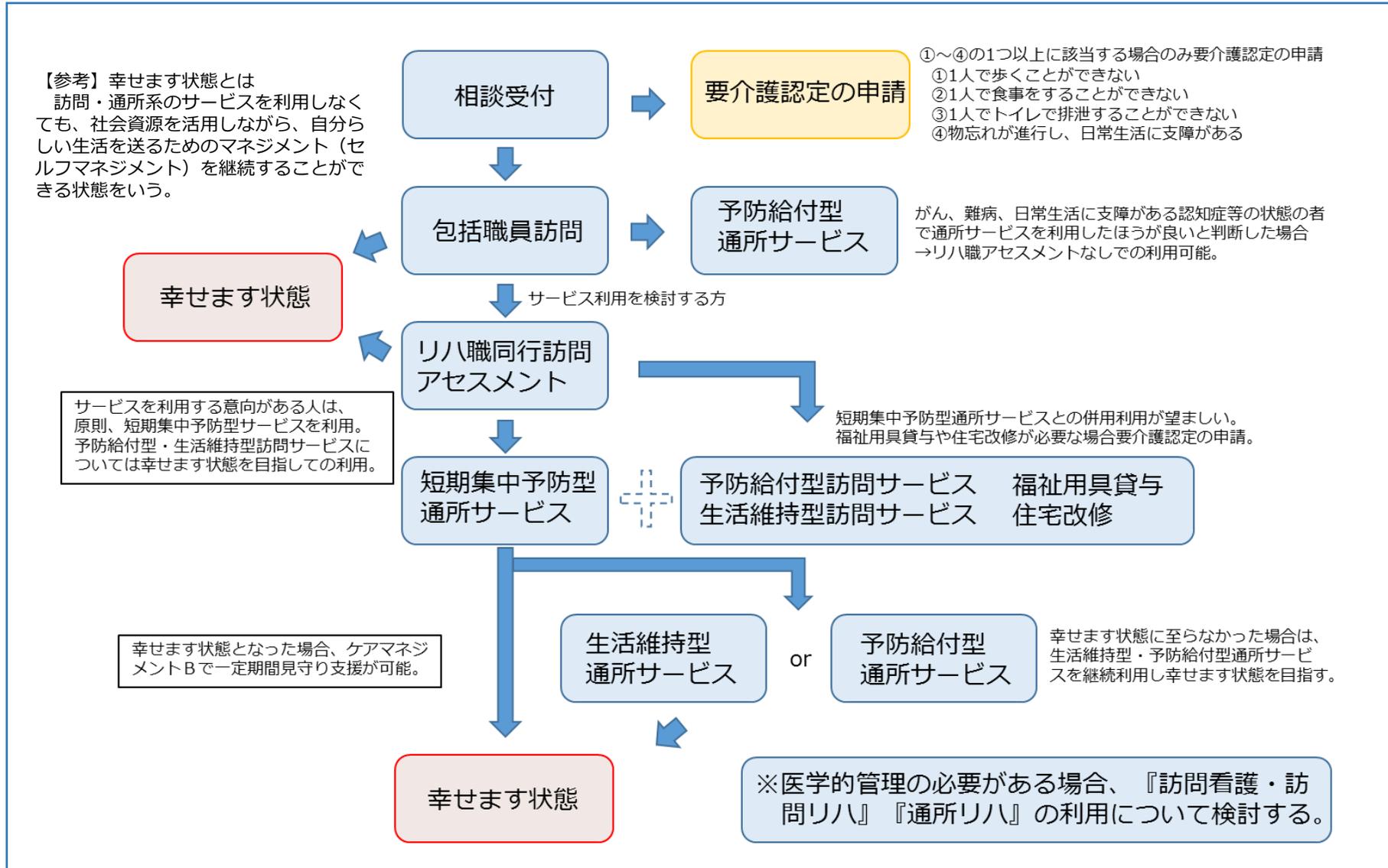
防府市の基本情報



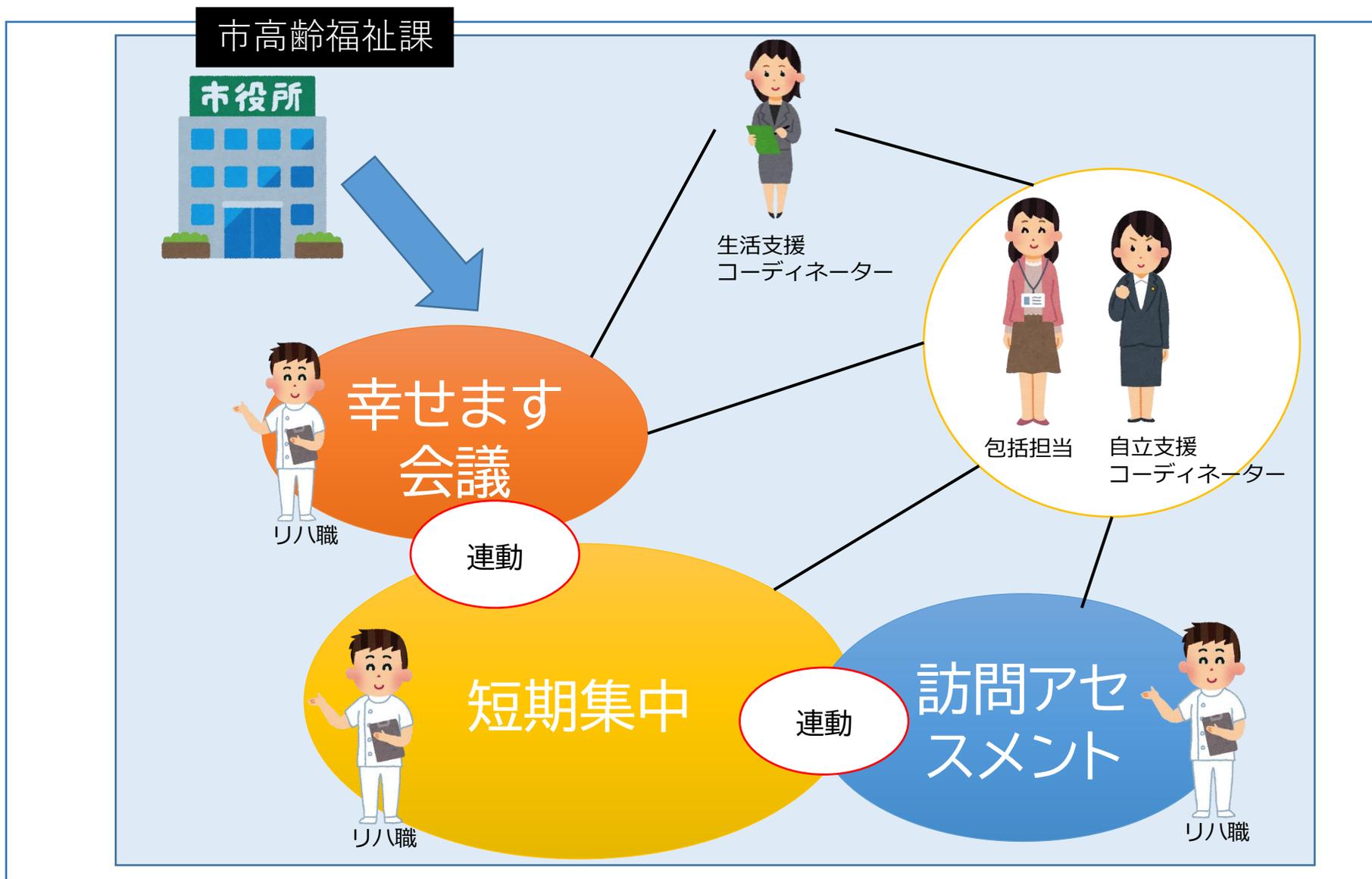
【防府市】
人口: 114,113人
65歳以上: 35,106人
75歳以上: 20,311人
高齢化率: 30.8%
認定率: 17.87%
保険料: 5,905円

※令和6年7月末時点

防府市の総合事業デザイン（全体）



多職種連携



総合事業の流れ（令和3年1月～）

令和3年1月から
スタート！

～防府市の高齢者支援が変わります～

防府市の高齢者支援は「住み慣れた地域でいつまでも普通に暮らせる幸せの提供」を目標に「短期集中予防型サービス」を中心としたサービス体系が変わります。

介護サービス等の支援が一度必要になった人でも「元の生活に戻る」ことを目指す仕組みを構築しました。

明らかに介護が必要な人はこれまでどおりの介護サービスを利用していただきます。

①相談窓口

生活での困りごとや身体の状態を詳しくお聞きしたうえで、地域包括支援センターと早期に関わる体制を構築し、必要な人へ適切な支援を行います。



②訪問アセスメント

介護サービスのプロであるケアマネジャー等とリハビリ専門職が自宅を訪問し、生活の様子や身体の状態を確認。**元の生活を取り戻すための適切な目標を提案**します。



③短期集中

予防型通所サービス

～一人ひとりに合わせたサービス～

サービス利用日以外の自宅での過ごし方と、現状の課題や今後の目標を話し合う面談を中心とした3か月間のサービスです。アセスメントで設定した目標を達成し、サービス終了後自信をもって「元の生活に戻る」ことを目的としています。



短期間で
機能・自信
を回復し地
域へ

④地域とのつながりの場

～やりたいことを自分で選ぶ～



高齢者の生きがいと健康維持のため、社会参加の場を整備し、すべての高齢者が「お互いに支え合うことができる」仕組みを構築しています。地域活動だけでなく、趣味活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で生活してもらいます。

②訪問アセスメント（リハ職同行）

リハ職同行訪問アセスメントの流れ（1時間程度）



生活情報の収集（面談）



身体機能の評価



生活課題解決方法の提案

目標の
設定と共有

プラン選択肢
の提案

③短期集中予防型通所サービス

サービス内容

- ・週1回2時間程度
- ・全12回の通所と1回の訪問サービス
- ・送迎付き、利用者負担なし
- ・提供する主なサービス内容



◎生活の不安を取り除きます

アセスメントで突きとめた生活しづらさの原因を取り除き、自信をもって生活できるように支援します。

◎セルフマネジメントを可能にします

一人ひとりに合わせた健康を維持するためのポイントをお伝えし、サービス終了後も身体の状態を維持できるように支援します。

◎住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるようにします

通いの場等の地域活動はもちろん、趣味活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で生活できるようにお手伝いします。

専門職との**面談を中心**に上記を実現します。
通所日以外の、週6日をどう過ごすかを一緒に考えます。



『面談を中心に』とは…

対象者と**1週間の振り返り**を行い、現状を整理して、可能性を引き出すアプローチを実施。

サービスを利用しない週6日を活動的に過ごすことの大切さを伝えるとともに肯定的側面にポジティブフィードバックを行う。

➡**セルフマネジメント能力の向上**

日々の生活を振り返ることで、対象者の個人因子、環境因子のアセスメントを深めることにもつながり、具体的な目標が見えてくる。短期目標の達成と目標の上方修正を繰り返すことで、対象者の意欲の向上、セルフマネジメント能力の定着につながる。

※セルフマネジメントとは

対象者が自身の可能性に気づき、元の生活を取り戻すための暮らし方を知り、意欲的に自分が管理できるようになることである。

短期集中の利用者数

令和3年	164人
令和4年	208人
令和5年	187人
令和6年	78人 (R6.6月末現在)

合計 637人

※内52人はサービス利用中

短期集中の利用終了者数及び改善率

合計 434人/ 637人 (68.13%)

※サービス途中終了者 114人

※令和6年6月末時点 (現在サービス利用中も含む)

卒業できないといけないのか

サービス終了者で卒業できなかった人

114人/637人

(17.89%)

この114人にとって短期集中サービスを利用したことは無駄だったのか？
⇒「セルフマネジメント」を習ったことで
従前よりは悪化リスクは低くなる

ここからも成果は出てくる